



入園、進級してから2週間が経とうとしています。初めての集団生活や新しい環境に、最初は緊張気味だった子ども達も少しずつ慣れ、天気の良い日は園庭でのびのびと遊んでいます。満開だった桜の花が散ると一気に夏日の日もあり、汗をかきながら遊ぶ姿も見られます。活動の間に休息や水分補給を入れながら、元気に過ごせるようにしていきたいと思います。各クラスの様子をお知らせします。

年少組では

今年度の年少児は登園時に泣くこともなく、みんな笑顔で保育室へ入っていきます。そこでの第一関門は、シールを貼ったり、タオルをかけたり、カバンや帽子をひっかけたりする『身の回りの始末』です。きっと今まではおうちの人に手伝ってもらっていることが多かったと思います。担任と補助教諭は、一人ずつ丁寧にやり方を知らせたり、できない部分は手伝いながら、自分でできるように仕向けています。『初めてのおやつ』の時は、配られたらもう早く食べたくて仕方がありません。でも担任から「いただきますをしてからだよ」と言われて、グッと我慢！みんなで「いただきます」をしてから食べたり、片付けの仕方もう覚えています。まだまだたくさんの『初めて』が出てきますが、きっと担任に優しく繰り返し教えてもらいながら、身に付いていくと思います。ご家庭でも、自分でできた時はたくさん褒めてあげてくださいね。また、一人用の段ボールで作られた電車に乗って幼稚園巡りをしたり、砂遊びをしたり、ウサギを見たり・・・幼稚園で遊ぶことが嬉しくて仕方のない様子の年少児です。

年中組では

昨年身に付けた生活習慣（カバンの始末や上着をたたむ、使った物の片づけをするなど）を覚えていて、年中組でも担任に見守られながら自分のことは自分でしています。また、カップや箱などの素材を使って作る遊びが好きで、自分の好きな物を作っています。園庭でダンゴムシなどを見つけたことから、「もっといろいろなものを見つけよう」と、トイレットペーパーの芯を2つつけて双眼鏡を作って遊ぶ子、その様子を真似て双眼鏡を作る子が増え、探検気分です。園庭だけでなく、お外へ探検に行きたい」という子ども達の思いから、18日に年中組だけで園外保育に出かけました。作った双眼鏡をもって探検気分に出かけ、川を見たり鳥を発見したりしました。「楽しかった」と帰ってきた子ども達。小さな探検家さん達がこれからどんな遊びを見つけていくのでしょうか。

年長組では

幼稚園の最年長、リーダーとして、全園児活動「ぐんぐんタイム」の当番をしたり、園庭の草取りや園舎名の掃除を一生懸命するなど、とても張り切っている様子が伺えます。

クラス活動として、「平田の街探検」を計画し、すでに2回園外保育に出かけています。歩きながら「川があったよ」「カメがたくさんいる!!」など、いろいろなことを発見したり、気付いたり、感動したりして帰ってきます。2回目の園外保育の翌日の朝、年長保育室を覗いてみると、何人もの子が長い棒の先に小さめの箱などをつけて、自分で作ったボールをその棒で打って転がして遊んでいました。ある子は、そのボールが通過できるような穴をあけた箱を作っています。まるでゲートボールのようでした。「何してるの?」と聞くと、まさに「ゲートボールだよ」「昨日、公園でお祖父さんたちがしておられた」という答え。自分なりに長さなどを工夫したスティックで、穴の開いた箱をめがけて打つ面白さを感じ、大歓声を上げて遊んでいました。この姿を見て、年長児としてのいくつかの力が育っていることを感じました。「園外保育に出かけ、面白そうなことや不思議に思う事柄にアンテナを張っていること」「そこで興味をもったことを自分達で遊んでみようとする」「遊びに必要なものを、材料を選んで作る」「遊びながら必要なものを作り足していくこと」「共通体験をした友達と、同じようなイメージをもって一緒に遊ぼうとすること」・・・たくさんの力が育とうとしていることに感動しました。そして、その力は急に育つものではなく、これまでの経験が役に立ちます。例えば、「なんだかかわからないけど組み合わせると面白い物を作った」という製作遊びの積み重ねが、「これが作りたい」「こういう時にはこんな材料が必要」「これをくっつけるにはガムテープがいいよ」など、イメージをわかせる力や技能につながります。これからいろいろな体験をたくさんして、いろいろな力を身に付け、友達とどんな遊びを繰り返していくのか、とても楽しみです。

※園外保育で出会った方に「どこの保育園?」と聞かれ、みんなが「平田幼稚園です」と答え、ある子は「リーダーです」と言ったそうです。

『幼稚園のリーダーなんだ』という気持ちにあふれた一言に思わずホッコリしました。



電車幼稚園巡り (年少児)



園外保育で鳥を発見! (年中児)



あお組流ゲートボール (年長児)